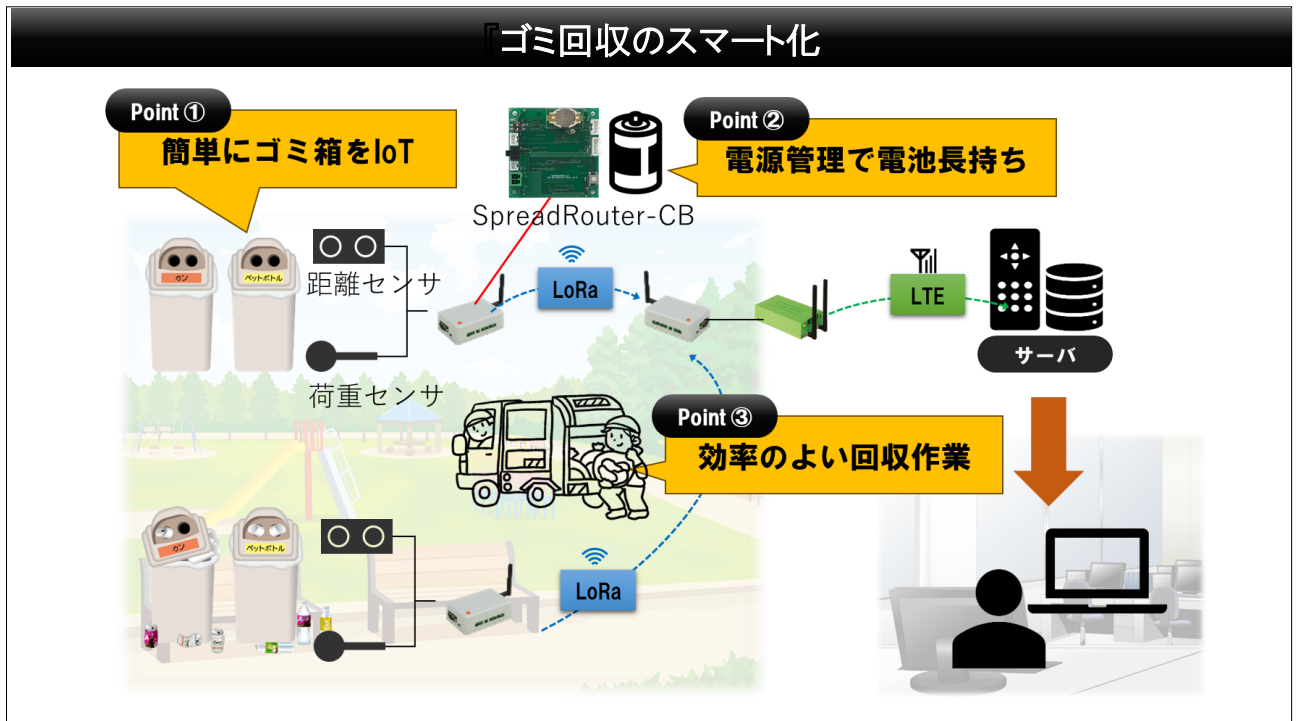


センサ活用でごみ問題から衛生環境を守る『ゴミ回収のスマート化』

■課題

観光客の増加により地域が活気づく一方で、ゴミ箱から溢れるゴミが問題となっています。エリア内に多数あるゴミ箱を適時に回収されないと、悪臭や害虫の発生といった問題が発生します。また、回収頻度を増やすと管理コスト(人件費)が嵩みます。コストを抑えつつ効率的にゴミ回収を行うことが求められています。



【概要・期待効果】

ゴミ箱にセンサを取り付け、ゴミの満杯状況を“見える化”します。センサや通信機器はSpreadRouter-CBの間欠制御によって市販乾電池で長持ち運用できます。各所にあるゴミ箱のゴミの量を遠隔地からリアルタイムで把握することで無駄な回収作業が減ります。これにより、コスト削減と効率的な管理が実現します。

- Point① 距離センサと荷重センサをゴミ箱に取り付けて満杯状況を計測
- Point② 市販乾電池で負荷機器を効率に動作させ、電池交換回数や、ランニングコストを抑制
- Point③ 遠隔で情報把握して、最適なタイミングで回収車に指示が出せます。

